大学院　研究内容調査

2026.10.1現在

【共通】研究所・センター・共同施設・富士吉田教育部　　マル合：研究指導教員　　合：研究指導補助教員

所属	研究内容	担当研究内容	教員氏名	役職	研究指導資格
先端がん治療研究所	1　分子標的治療の開発と耐性機序（主に肺癌）	2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,16,17,19	鶴谷　純司	教授	マル合
	2　HER2陽性乳癌のT-DXd治療に対するオランザピン併用制吐療法の有効性を検討するプラセボコントロール二重盲検ランダム化第II相比較試験	1,15	山岡　利光	准教授	マル合
	3　生殖細胞系列BRCA1/2変異陽性転移性乳癌におけるオラパリブ耐性の機序を探索する橋渡し研究 (OLIVE)	13,14,20	伊藤　寛晃	准教授	マル合
	4　難治性腫瘍形成における葉酸受容体とCXCL17の関連と役割解明	2,9,10,11,12,17	酒井　瞳	准教授	合
	5　乳癌のペア検体を用いたFolate receptor alpha (FOLRα)のバイオマーカー研究	3,4,18	松尾　理加	准教授	マル合
	6　アベマシクリブ投与後のHR陽性HER2陰性転移再発乳癌に対するアベマシクリブのre-challenge試験/ctDNAの継時的評価による薬剤耐性メカニズムの評価	15	長谷部　友紀	助教	合
	7　エンハーツ点滴静注用100mg特定使用成績調査(乳癌)」患者を登録対象としたトラスツズマブデルクステカン中止後の後治療に関するコホート研究				
	8　トリプルネガティブ乳癌患者に対するアテゾリズマブの前向き観察研究(JBCRGC08 ATTRIBUTE)				
	9　ホルモン受容体陽性HER2陰性進行再発乳癌に対するパクリタキセル＋ベバシズマブ＋アテゾリズマブのランダム化比較第III相試験(JCOG1919E)				
	10　HER2陰性乳癌脳転移・髄膜播種の薬物療法開発にむけた髄液ctDNA検査の研究				
	11　子宮頸がん患者の治療後の性機能障害と不安・抑うつの患者報告アウトカムを用いた前向きコホート研究JGOG9004				
	12　ホルモン受容体陽性HER2陰性早期乳癌の早期再発リスク因子を探索する後方視的多施設共同観察研究				
	13　がん微小転移メカニズムの解明と循環がん細胞無標識検出技術の確立				
	14　血中遊離核酸ならびにがん関連微量物質の検出による超早期がん診断技術の開発				
	15　非小細胞性肺癌における末梢血循環癌細胞（CTC）新規同定法の開発				
	16　アベマシクリブ服用患者における肝障害とHLAアレルとの関連性に関する研究（検証試験）				
	17　ホルモン受容体陽性HER2陰性早期乳癌の早期再発リスクを評価する多多遺伝子アッセイ（MammaPrint/BluePrint）を用いた後方視的多施設共同観察研究				
	18　紫外線損傷に起因したゲノム不安定性獲得メカニズムの解明				
	19　HER2遺伝子異常を有する固形腫瘍におけるTAS0728の第一相試験（医師主導治験）				
	20　ラマン分光法と機械学習、人工知能を活用した血液、尿中成分の分析と疾患スクリーニングアルゴリズムの開発				
臨床薬理研究所 臨床薬理部門	1　臨床研究・治験の適正な進め方と倫理的配慮の研究、早期探索的臨床研究、臨床薬理試験の検討と実施	1,2,3,4,5	小林　真一	特任教授	マル合
	2　臨床研究における研究倫理教育	1,2,3,5	竹ノ下　祥子	准教授	マル合
	3　医師主導治験・臨床研究におけるPM・調整事務局業務に対する研究	4	山本　明和	講師	合
	4　虚血性心疾患における血管内画像を用いた動脈硬化と臨床成績の検討				
	5　臨床研究コーディネーター（臨床研究専門）教育				
臨床薬理研究所 臨床免疫腫瘍学部門	1　がん免疫療法施行中の患者における腸内細菌叢の解析を通じたバイオマーカーの探索	1-14	吉村　清	教授	マル合
	2　腸内細菌代謝産物の短鎖脂肪酸の抗腫瘍免疫効果の解析による創薬研究	1-14	倉増　敦朗	特命教授	マル合
	3　腸内細菌代謝産物のイノシンによるがん微小環境の代謝修飾による転移性骨腫瘍に対する新規免疫療法の開発				
	4　プロバイオティックが腫瘍微小環境に与える影響とその機序の解明				
	5　加齢による免疫細胞、がん細胞の変化と、抗腫瘍免疫活性の維持を目的とした免疫学的加齢の克服				
	6　便移植に最適な腸内細菌叢の検索と継続的便移植に使用可能な便カプセルの開発				
	7　口腔内細菌とがん組織における細菌叢の解析を介した腸内細菌叢との関係				
	8　HLA／TCRに依存しないT細胞活性経路としてのNKG2D/NKG2DL活性化機序の解明				
	9　可用性NKG2DL阻害因子を用いた新規免疫療法の開発				
	10　NKG2D発現免疫細胞を用いた新規免疫療法の開発				
	11　抗PD-1抗体のT細胞サブセット上の占拠率を介した抗腫瘍活性の調節機序の解明				
	12　T細胞浸潤を阻む腫瘍（Cold腫瘍）の発現分子をもとにしたHot腫瘍転換療法の開発				
	13　抗ヒスタミン薬による腫瘍微小環境調節機構の解明				
	14　免疫関連有害事象に対する抗ヒスタミン薬の作用解明				
臨床薬理研究所 臨床腫瘍診断学部門	1　免疫チェックポイント阻害剤の有効性を予測するバイオマーカーの探索	1-16	和田　聡	教授	マル合
	2　免疫チェックポイント分子における翻訳後修飾の解析及び耐性機序の解明	1,4,8,9,12,13	大西　伸幸	講師	マル合
	3　可溶性免疫チェックポイント分子を標的とした新規治療法の開発				
	4　固形がんに対する細胞性免疫治療法の開発(CAR-T療法等)				
	5　間葉系幹細胞を用いた新規がん治療法の開発				
	6　がん微小環境を変化させる次世代型免疫療法の開発				
	7　新規同定分子を用いたBispecific抗体/蛋白の作製及び治療への応用				
	8　翻訳後修飾解析を利用した正常細胞と腫瘍細胞を見分ける究極の標的分子の同定				
	9　循環癌細胞を標的としたがん免疫治療法の開発				
	10　新規同定した単球遺伝子の機能解明及び治療への応用				
	11　治療標的分子の糖鎖解析及び特異的治療法の開発				
	12　新規同定した免疫治療耐性分子の機能解析及び治療薬の開発				
	13　腫瘍浸潤リンパ球誘導法の確立				
	14　腫瘍微小環境を抗腫瘍環境に変化させる液性分子の解明				
	15　シェディングを受けた特定蛋白における抗腫瘍免疫活性の解明				
	16　単細胞RNA/糖鎖解析を用いた免疫活性の解明				

所属	研究内容	担当 研究内容	教員氏名	役職	研究指 導資格
発達障害医療研究所	1　神経発達症（自閉スペクトラム症、ADHD等）の脳画像研究	1-5	太田　晴久	准教授	マル合
	2　神経発達症（自閉スペクトラム症、ADHD等）の集団リハビリテーションプログラム開発	1,3,6-8	中村　元昭	准教授	マル合
	3　神経発達症（自閉スペクトラム症、ADHD等）に関する臨床的総合研究	1,6	板橋　貴史	講師	合
	4　fMRIニューロフィードバックを用いた神経発達症に対する新規支援法の開発				
	5　神経発達症（自閉スペクトラム症、ADHD等）に関するAIアプローチによる臨床と脳基盤を繋ぐ研究				
	6　脳画像を用いた神経発達症の生物学的・客観的指標の開発				
	7　発達障害の脳刺激療法の開発				
	8　発達障害の電気生理学的研究				
スポーツ運動科学研究所	1　アスリートメディカルチェックのデータベース構築と解析	1-8	加賀谷　善教	教授	マル合
	2　アメリカンフットボールにおけるクォーターバック選手の投球動作および身体機能と肩関節障害との関連	1-8	田村　将希	准教授	マル合
	3　クラシックバレエダンサーの画像および動作解析	1-4	古屋　貫治	講師	合
	4　投球動作中の下顎位の固定方法の解明	1-7	阿蘇　卓也	講師	マル合
	5　深度センサー付きカメラを用いた肩甲骨動態解析				
	6　学童期野球選手における成長に伴う身体機能および投球動作の変化				
	7　医療用ユニフォーム着用が肩甲骨機能および肩関節可動域に及ぼす影響				
	8　女性アイスホッケー選手の外傷発生調査と動作解析				
富士山麓自然・生物研究所	1　富士山麓の自然・生物に関わる研究	1-7	平井　康昭	特任教授	マル合
	2　節足動物の系統進化に関わる研究	1,2	蛭田　眞平	准教授	マル合
	3　両生爬虫類の保全生態学的研究	1,7	谷亀　高広	講師	マル合
	4　鳥類・哺乳類の生態・行動に関する研究	1,3	宅森　美優	講師	合
	5　植物の系統分類および進化生態学的研究	1,4	植田　彩容子	講師	合
	6　富士火山の噴火史に関する研究	1,5	柿嶋　聡	准教授	マル合
	7　植物と菌類の共生系（菌根・内生菌）解明に関する研究	1,6	馬場　章	講師	合
臨床ゲノム研究所	1　がんゲノム検査のデータベース構築と臨床に資する各種解析	1-4	小島　康幸	准教授	マル合
	2　遺伝性腫瘍に関するデータベース構築と臨床に資する各種解析				
	3　男性未発症HBOCサーベイランス研究				
	4　Liquid biopsyを用いた抗腫瘍薬選択に資する検査法の開発				
脳機能解析・デジタル医学研究所	1　コンピュテーショナルニューロダイナミクス解析を用いた次世代脳機能評価・診断統合プラットフォーム構築	1-3	佐藤　洋輔	教授	マル合
	2　AIを活用した立体視デジタル医学教育・医療システムの構築	3	高橋　純一郎	准教授	合
	3　中央アジアとの国際医学交流				
ストレスマネジメント研究所	1　心身症の病態解明と治療法の確立	1-4	中尾　睦宏	教授	マル合
	2　行動医学教育のエビデンスの構築	1-4	小林　如乃	准教授	合
	3　職域や日常生活のストレス研究				
	4　疼痛の心理社会的な要因の評価と対応				
臨床疫学研究所	1　レジストリ・データを活用した臨床疫学研究	1,2,3,5	長谷川　毅	教授	マル合
	2　システマティック・レビューの手法を用いた臨床疫学研究	3,4,5	井上　紀彦	講師	マル合
	3　診療報酬請求データ・電子カルテデータを用いた臨床疫学研究				
	4　医療経済・医療技術評価の研究				
	5　患者報告情報を活用した臨床疫学研究				
メディカルデザイン研究所	1　カルチュラル・プロダクト（Cultural Product）に関する研究	1	安次富　隆	特任教授	マル合
	2　複合現実（Mixed Reality）技術とシミュレーション教育の融合に関する研究	1-3	大滝　周	准教授	マル合
	3　手術看護に関する研究				
細胞外マトリックス研究所	1　MASH病態制御分子の脂質代謝における機能解明	1-5	金山　朱里	特命教授	マル合
	2　肝線維症を制御する人工核酸開発				
	3　がん関連線維芽細胞の細胞外環境硬化メカニズム解析				
	4　心不全治療標的としての機械刺激応答性分子の解析				
	5　変形性関節症における細胞外マトリックス制御分子の解析				
統括研究推進センター	1　臨床研究の企画・実施・解析によるエビデンスの創出	1-6	三邉　武彦	教授	マル合
	2　臨床ビッグデータを活用したRWD(Real World Data)を用いた研究	7,8	井上　永介	特命教授	マル合
	3　小児の服薬困難の解決に向けた新規剤形評価に関する研究	9	岩瀬　万里子	講師	マル合
	4　薬効に影響を与えないトロミ水の開発	10-12	矢野　文子	准教授	マル合
	5　健康補助食品の有効性および安全性に関する臨床研究	2	龍　家圭	准教授	合
	6　酸化ストレスに関する研究	5,6	塚田　愛	講師	合
	7　臨床研究の計画と統計解析				
	8　医学分野で利用される統計手法の評価および研究				
	9　薬物代謝酵素の阻害・誘導を介した薬物相互作用に関する臨床薬理学的研究				
	10　超硫黄分子を応用した運動器疾患治療薬の開発				
	11　関節の恒常性を司る、滑膜と軟骨の連関制御機構の解明				
	12　網羅的トランスクリプトーム解析による変形性顎関節症の病態メカニズムの解明				
電子顕微鏡室	1　透過電子顕微鏡による細胞内部の超微細形態解析の研究	1-8	髙木　孝士	教授	マル合
	2　走査電子顕微鏡による細胞表面の超微細形態・構造解析の研究	4,7-13	家口　勝昭	准教授	マル合
	3　光-電子相関顕微鏡法 (CLEM:Correlative light and electron microscopy)を用いた研究				
	4　免疫電子顕微鏡法を用いた研究				
	5　3次元電子顕微鏡法を用いた研究				
	6　電子顕微鏡を用いた材料解析の研究				
	7　新規蛍光色素の開発・評価と顕微鏡イメージングおよび多分野への応用研究				
	8　EDSを用いた元素分析の研究				
	9　免疫チェックポイント分子における糖鎖解析と治療抵抗性における分子機序の解明				
	10　可溶性免疫チェックポイント分子を標的とした治療抵抗性における分子機序の解明				
	11　乳がんおよび膵臓がんにおける新規DDSを用いたホウ素中性子捕捉療法（BNCT）の臨床応用				
	12　炎症が惹起する転移微小環境形成の解明とその臨床応用				
	13　マウスを用いたがん転移における分子機序の解明				
遺伝子組換え実験室	1　がん転移に関わる遺伝子の同定と機能解析	1	石川　文博	准教授	マル合

所属	研究内容	担当 研究内容	教員氏名	役職	研究指 導資格
富士吉田教育部	1　一般化線型モデルおよび点過程モデルを用いた多次元時系列解析、多変量解析、言語統計学	1	小倉　浩	教授	マル合
	2　スポーツ科学、スポーツライフマネジメント、スポーツ管理学	2	堀川　浩之	教授	マル合
	3　文学全般、文章表現法、日本語基礎教育	3	田中　周一	特任教授	Mマル合
	4　モノアミンの生理機能の解明／不安・不眠・うつの生理的指標の研究	4	金丸　みつ子	教授	マル合
	5　赤外分光法による生体ガス、有機薄膜、界面・表面分子についての研究	5	山本　雅人	教授	マル合
	6　硬組織構成細胞の分化・機能調節メカニズムの解析	6	宮本　洋一	特命教授	マル合
	7　磁気共鳴分光法および熱測定による、医療用物質の微細な空孔、および空孔を用いて構築した新規医療用物質に関する研究	7	小林　広和	特命教授	マル合
	8　男性の家事参加に関するジェンダー論的考察，性的マイノリティに対する若者の意識調査研究	8	須長　史生	准教授	マル合